

令和〇年度安全計画【施設名称：〇〇〇保育園】

◎安全点検

(1) 施設・設備・園外環境

月	4月
重点点検箇所	
月	10月
重点点検箇所	

【記載項目例】

以下を参考に、各月の重点点検箇所を設定してください。

①施設：園庭、遊具、非常口周辺、屋根、廊下、フェンス、門、内扉、排水路、避難経路、緊急連絡先等の確認

②設備：防火設備点検、災害用備品・医療用備品の使用期限の確認、暖房器具点検・使用方法の確認等

③園外環境：散歩コースや遠足先の確認・下見（遊具の確認も含む。）、緊急避難先の経路の見直し等※

※ 散歩コースの他に、遠足等で日常的に目的地としてない場所や、前回訪れた際から間隔が空いた場所についても、事前に下見を行い、死角等の危険箇所について職員間で共有してください。また、日常的に利用する散歩コース等の経路の変更がない場合でも、工事等により危険箇所が新たに発生する可能性があることに留意してください。

(2) マニュアルの策定・共有

分野	策定期	見直し（再点検） 予定時期	掲示・管理場所
重大事故マニュアル	(例) 平成 27 年 10 月 1 日	令和 5 年 10 月 1 日	掲示：玄関ホール、管理：事務室
☐ 午睡	年 月 日	年 月 日	
☐ 食事	年 月 日	年 月 日	
☐ プール・水遊び	年 月 日	年 月 日	
☐ 園外活動	年 月 日	年 月 日	
☐ バス送迎（※実施している場合のみ）	年 月 日	年 月 日	
☐ 降雪（※必要に応じて策定）	年 月 日	年 月 日	
災害時マニュアル	年 月 日	年 月 日	
119 番対応時マニュアル	年 月 日	年 月 日	
救急対応時マニュアル	年 月 日	年 月 日	
不審者対応時マニュアル	年 月 日	年 月 日	

マニュアルは可視化し、常勤保育士だけでなく、非常勤職員や保育補助者も含め、全職員に共有できるように、掲示・管理場所について周知してください。
各マニュアルの内容については、変更が生じた場合も含め定期的に見直しを行い、必要に応じて修正等の措置を講じてください。

◎児童・保護者に対する安全指導等

児童の発達や能力に応じた方法で、児童自身が保育施設の生活における安全や危険を認識し、災害や事故発生時の約束事や行動の仕方について理解させるよう努めてください。

(1) 児童への安全指導（保育所の生活における安全、災害や事故発生時の対応、交通安全等）

	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
乳児・1歳以上 3歳未満児	(例) ・遊具遊びや散歩時の事故防止	・熱中症対策	・交通安全教室 (道路の歩き方など) ・暖房器具における事故防止	・暖房器具による事故防止 ・凍結等による事故防止
3歳以上児	・遊具遊びや散歩時の事故防止	・熱中症対策 ・プール遊び時の事故防止	・交通安全教室 (道路の歩き方、信号の見方など) ・暖房器具における事故防止	・暖房器具による事故防止 ・落雪や凍結による事故防止

(2) 保護者への説明・共有

保護者に対しては、安全計画について説明するだけではなく、家庭内で児童が安全について学ぶ機会を確保するよう依頼してください。

4～6月	10～12月	1～3月
(例)・安全計画及び安全に関する取組の内容について、玄関ホールに掲示し、周知を図る。 ・園だよりを活用し、取組内容の周知を図るとともに、児童が安全に係るルール・マナー等を家庭で学ぶ機会を確保するよう保護者に依頼する。	び安全に関する取組の内容について、玄関ホールに掲示し、周知を図る。 ・園だよりを活用し、取組内容の周知を図るとともに、児童が安全に係るルール・マナー等を家庭で学ぶ機会を確保するよう保護者に依頼する。	・安全計画及び安全に関する取組の内容について、玄関ホールに掲示し、周知を図る。 ・園だより(クラスだより)を活用し、取組内容の周知を図る。 ・入園時の説明会で取組内容の周知を図る。

◎訓練・研修

(1) 訓練のテーマ・取組

訓練内容はあらゆる災害・事故等に備えるものとし、偏りのないようにしてください。
また、消火器等の消防設備の使用方法や場所等については、あらかじめ全職員に周知してください。
避難訓練については、必ず月に1回以上、行動を伴う訓練を実施してください。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
避難 訓練等 ※1	(例)・避難訓練 (総合避難訓練) ・消火訓練	・避難訓練 (火災想定) ・消火訓練	・避難訓練 (水害想定) ・消火訓練	・避難訓練 (火災想定) ・消火訓練	・避難訓練 (地震想定) ・消火訓練	・避難訓練 (台風想定) ・消火訓練
その他 ※2	・通園用バスにおけ る見落としの防止		・救急対応(エビペン の使用等)			・不審者(外部侵入 者)対応
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
避難 訓練等 ※1	・避難訓練 (総合避難訓練) ・消火訓練	・避難訓練 (地震想定) ・消火訓練	・避難訓練 (火災想定) ・消火訓練	・避難訓練 (水害想定) ・消火訓練	・避難訓練 (いっせい防災訓練) ・消火訓練	・避難訓練 (総合避難訓練) ・消火訓練
その他 ※2	・119番通報対応		・救急対応(心肺蘇生 法, AEDの使用等)			

※1 「避難訓練等」・・・設備運営基準第6条第2項の規定に基づき毎月1回以上実施する避難及び消火に対する訓練

※2 「その他」・・・「避難訓練等」以外の119番通報、救急対応(心肺蘇生法、気道内異物除去。AED・エビペン®の使用等)、不審者対応、送迎バスにおける見落とし防止等

(2) 訓練の参加予定者(全員参加を除く。)

上記(1)のうち、一部の職員が参加する訓練がある場合は記載してください。なお、訓練結果を職員全体に周知し、参加していない職員にも共有してください。

訓練内容	
(例) 送迎用バスにおける見落としの防止	(例) 運転手、添乗員ほか
(例) 不審者(外部侵入者)対応	(例) 園長、主任保育士、●歳児担任ほか
(例) 119番通報対応	(例) 園長、主任保育士、●歳児担任ほか

(3) 職員への研修・講習（園内実施・外部実施を明記）

4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
(例)・【外部】アレルギー対応の研修 ・【外部】エピペンの使用に係る研修 ・【園内】人数の点呼確認の訓練	・【外部】心肺蘇生法に係る研修 ・【園内】不審者（外部侵入者）対応に係る研修	・【園内】エピペンの使用に係る再研修	・【園内】不審者（外部侵入者）対応に係る研修（防犯用品の使用方法など）

(4) 行政等が実施する訓練・講習スケジュール ※所属する自治体・関係団体等が実施する各種訓練・講習について参加月冷にかかわらずメモする

(例) ・令和●年●月：オンライン研修（キャリアアップ研修等）の受講 ・令和●年●月：救命講習，Jアラート訓練 事故防止研修 等	外部で受けた研修・訓練等は，必ず園内でも研修・訓練等を行い，職員間で共有してください（(4)も同様。）。
--	--

◎再発防止策の徹底（ヒヤリ・ハット事例の収集・分析及び対策とその共有の方法等）

(例) ・ヒヤリハット事例について職員会議で共有し，再発防止策について検討する。	施設内に限らず，施設外活動や，登園・降園時等保育園の活動の中のヒヤリハット事例については，細かく記録し，再発防止策を徹底してください。
---	---

◎その他の安全確保に向けた取組（地域住民や地域の関係者と連携した取組，登降園管理システムを活用した安全管理等）

(例) ・登園予定の児童が登園せず，欠席の連絡がない場合，午前〇時までには保護者に電話し，出欠確認をする。また，児童が欠席する場合は，必ず欠席の連絡を入れるよう保護者に伝える。

安全計画に記載された事項の他に，施設で行っている安全確保に向けた取組について記載してください。